

第38号 (2016-2月発行)

根郷

寿だより



発行 佐倉市立根郷公民館

〒285-0815 佐倉市城 343-5

☎ 043-486-3147

編集 根郷寿大学

根郷寿だより編集委員会

人生はなづくし

一班 木偶坊

おもえはお酒とは縁が切れない  
ものだ。赤ちゃんが生れれば誕生の  
祝杯を、入学すれば入学祝、そして  
就職祝に結婚祝、人が亡くなれば故  
人を忍んで献杯を――。

会社でも、もめ事あらば験直しの  
清めの酒を、「禍転じて福となす」「水  
三尺流れれば清くなる」疫病神も信  
じて益病神となり、罪人も改心して  
福の神となりなんと  
も不思議なものだ。  
次の「はなの舞」にか  
かげられているも  
のである。一読あれ、  
なあい――最後はいやと言つほど、  
棺を菊の花で埋めてやるから心配し  
なさんな――と悪友の声が聞こえ  
てきそうだ。

人生花づくし

・親の教えは きくのはな  
・悪に染まれば くずのはな  
・人の悪くち くちのはな

夜咲く花 月下美人

元受講生 大川 義郎

夏の暑い日、強い甘い香りとともに  
に大輪の白い花が庭先に咲いた。  
毎年七・八輪ほど咲いてくれる。

・愚痴とまやかし なしのはな

・頭は垂れて ふじのはな

・笑顔あかるく ひまわりで

・愛をはぐくむ ばらのはな

・心清らか しらゆりで

・香りも高き うめのはな

・迷いの鯛は きりしまで

・罪と隣は けしのはな

・失意の胸は なでしこで

・世は移ろいて あじさいの

・繋り背いて ゆうすげで

・月日は早く たちばなで

・年もつもれば こけのはな

・悦惚きさせば ぼけのはな

・露よりもろき あさがおで

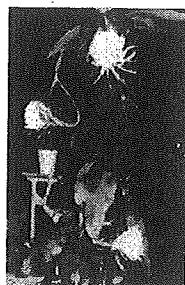
・行者の照明 つげのはな

・散り際さやか さくらばな

・先は浄土の はすのはな

「はなの舞」より

今年も七輪咲いてくれた。薄い幹先に花芽を持つて一週間程たつと花先がたまご大に膨らむとともに鎌首をもたげ、夜中に二十センチほどの花を咲かせます。



翌朝にはもう萎びてしまう花サボテンの「月下美人」

この花はクジャクサボテンの仲間で、生まれは中南米の熱帯産だといふ。夜中に開花するのは、蝙蝠による花粉媒介されるためといわれています。コウモリのために、目立つ白い大きい花、甘く強い匂いを放ち、花の蜜が多く、花の幹から障害物もなく直接に咲くからだと。

「校歌に寄せて」

四班 内野 牧夫

根郷寿大学二年目、皆さんと共に

校歌をうたう機会を与えて頂き感謝します。校歌にどんな思い出がありますか？校歌とは、学校で建学の理想をうたい、校風を発揚するためには制定した応援歌。（広辞苑より）これまでに校歌が生れたキッカケや校歌に伴う三つの歌、歌い方などについて紹介を致します。

昨年末、これまでの寿大学を振り返り公民館職員に感想を尋ねると、「昔の方が活気だった」との声を聞き、今のが活気不足していると思いました。大学の名称も変わったので、私は校歌の力で根郷寿大学を盛り上げようと思いました。

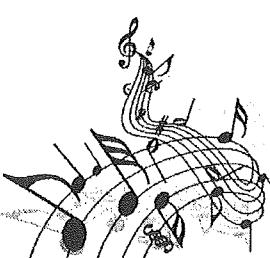
そんな時、前に「♪佐倉城賛歌」を作曲した斎藤雄氏に作詞を依頼しました。歌詞が出来ると、根郷小学校の校歌（曲、服部正・ラジオ体操の作曲家）と「冬よ、い」（のはらのうたより自ら作曲）に二曲を重ね合わせて曲想を練り上げて行きました。

次に、今回の校歌（寿ふれあいの歌）には、前奏曲の「寿学生音頭」と全国版の「わがふるさと」の二つ

の応援歌があります。寿学生音頭は振り付けて、輪になつて踊れます。

また「わがふるさと」は、佐倉発の歌の旅列車で、全国を歌旅します。さて、校歌の歌い方ですが、第一にハ長調で作曲したため、最初の音が高音になっています。始めの音を三音下げ「ソ（G）からミ（E）」で歌いだすと声が出易くなります。な

お音符を再編成して作ります。第二は歌の終わりの「オ」は、拳を上げて元気良く発声して下さい。第三は、幸せ求めて春を待つ気持ち



で明るく笑顔で歌い上げましょう。皆さんへのメッセージ。歌好きな学生の方と共に歌の輪を広げよう。「心に太陽を、口元に挨拶を持て、体に運動を、唇には歌を持って」。寿大学の校歌が末長く愛唱され、活気あふれる学園となるよう願いながら

続・人生のマラソン（その一）

四班 斎藤 たかし

前号（自分史序編）では、中学時代の仲間達との再会のため秋田県に

かほ市へ帰省して、小学三年生から高校卒業迄の十年間ではあつたが、思い多い鳥海山の麓の町で開催した同期会の一コマを書いた。

根郷公民館二階ロビーの書籍棚に陳列されている平成十年三月発行の自分史集は、寿だより編集員会の前身として平成九年度に「自分史づくり講座」があつたが、その受講者全員の総括である。「人生のマラソン」と題した私の作文は極めて簡単である。

あれから十八年を経過、私は自己史の会・寿だより編集・寿大学副会長を歴任して、現在は根郷寿だより編集のみとなつた。

そして・・・平成二十七年度に太平洋戦争終戦後七十年を迎えた事で、私は幼き頃の様々の事柄を思い出している。秋田市で生まれたが父親の

仕事の都合で上京して、杉並区荻窪で日中戦争と太平洋戦争の真っ只中を過ぎた。

荻窪にあつた日の丸幼稚園を卒園して桃井第一国民学校一年生迄、二年生進級の春（昭和二十年）に秋田市へ疎開した。

幼な心に未だ記憶に残っているのは戦争末期の東京、連日のようにラジオから聞こえる言葉「警戒警報・空襲警報発令」である。何故か夜が多いと記憶している。家ではその都度電気スタンドに黒い布を被せていた。「B29爆撃機近畿上空を通過し御前崎に接近中……」とか。

狭い我が家の大庭に防空壕があつた。今思えば新宿の大空襲の日だったの

である。近い！防空壕に入る寸前、父親が東の空を見なさいといふ。

光った、今、花火大会が盛んだ、まるで花火が開くのを逆さまにした光景だ、父親は私と今は亡き二歳上の姉に思い出として残したかったのだ。

秋田の疎開した年（昭和二十年）

に、終戦前の三月九日の夜から十日

にかけて東京大空襲があり犠牲者は十万人という。八月終戦直前、秋田市土崎港にあつた日石の製油所もB29の標的になり爆破された。秋田は現在も数少ない石油の产地である。

東京での思い出はまだある。或る

日一家で省線電車に乗った（後の国

電、現JR）何處に向かつたのか記憶がない。何と座席があちこち抜けている、聞けば兵隊さんの輸送に使う飛行機や船の座席の補充だと言う。

終戦直前迄秋田市の中通り国民学校でも防空頭巾を被り、連日避難訓練が行われていた。そして終戦、ラジオから昭和天皇の玉音放送が聞こえてきた。

戦争に勝つ事が当然といわれていた時代、本当に『耐え難きを耐え、偲び難きを偲び……』なければならなかつたのである。（つづく）



「乗り鉄」、「音鉄」、「撮り鉄」という鉄道ファンを指す言葉がある。来春、北海道新幹線開業予定によりブルートレインの「北斗星」が、八月に廃止され、また、来春には「カシオペア」が廃止になること、シオペアが廃止になることなど、

「乗り鉄」による切符の争奪

「物井駅」で「佐倉駅」までの運賃

の切符は百九十九円（距離4.2km）を

購入。

いよいよ、「にわが乗り鉄」の開始

である。午前七時四十三分、「東京行き」の快速電車に乗車。平日の通勤時間帯であったが、すでに高校生等の学生の姿は少なくなつており、混雑状況はさほどではなく、座席の争奪戦もなかつた。サフリーマンは、

タードである。

千葉県に住んで三十五年になり、この間自動車で房総半島を一周したことはあるが、鉄道でとなると今回が初めてである。

「乗り鉄」、「音鉄」、「撮り鉄」という鉄道ファンを指す言葉がある。

来春、北海道新幹線開業予定によ

りブルートレインの「北斗星」が、

八月に廃止され、また、来春には「カ

シオペア」が廃止になること、シオペアが廃止になることなど、

「乗り鉄」による切符の争奪

「物井駅」で「佐倉駅」までの運賃

の切符は百九十九円（距離4.2km）を

購入。

いよいよ、「にわが乗り鉄」の開始

である。午前七時四十三分、「東京行き」の快速電車に乗車。平日の通勤

時間帯であったが、すでに高校生等

の学生の姿は少なくなつており、混

雑状況はさほどではなく、座席の争

奪戦もなかつた。サフリーマンは、

クールビズが徹底されているのか、

「ハの秋に」

三班 渡部 敏夫

「何、それ？」

それは、例えば、東京駅から隣の神田駅までは、一つ目の駅でその距離1.3kmで運賃は百二十円であるが、経路は指定されているわけではなく、山手線を反対回りで二十八番目の駅（最後の駅）として降りてもよいのである。（※定期券は乗車経路指定のため異なる）

鉄道運賃等のルールは、まず①最短距離により計算され、②途中下車せずに、③重複して同じ駅を利用しない（いわゆる一筆書き）ことになつていて、これら3条件を元に、九月十四日、「物井駅」で「佐倉駅」までの運賃の切符は百九十九円（距離4.2km）を購入。

ネクタイ姿の人は一人もいなかつたが、スマートホンでゲームに夢中になつてゐる人がなんと多い」とか。千葉駅で下車。

千葉駅で内房線に乗り換える前に、構内のコンビニでサンドイッチと缶コーヒーを購入。ここで買っておかなければ、先々、昼食抜きになつてしまふ。この先々の駅では構内にコンビニは無いと思われた。なぜなら、途中下車はできず、乗換駅で改札口の外には出られないのだから。

内房線「館山」行きに乗つた。蘇我駅を過ぎた頃、車両基地には、先づ廃止されたブルートレインと思われる先頭車両の機関車が寂しげに三台停まつていた。ブルートレインはすでに廃止されており、その余生はどうなるのかなど、自分の姿といだぶらせてしまつた。

そのうちに京葉コンビナートを通過していた。木更津駅を過ぎると、両編成の電車の一両当たりの乗客が二~三人とガラガラ状態。まだ、海は見えない。「大貫駅」を通過し、右

側にようやく海(東京湾)が見えたと思つたら、すぐにトンネルとなつた。海沿いに電車が走るものと思ひ込んでいたが、意外にトンネルが多い。

線路沿いには、黃金色に輝く稻田、スキの穂が首を垂れていた。そして早くも彼岸花が咲き始めていた。秋が近いことを実感した。

その後車窓からは、東京湾を挟み、富士山の姿を見ることはできなかつたが、三浦半島の街並みがハッキリと見渡すことができた。あの船は横浜に行くのかな。

館山駅に到着後、約二十分钟待ちで外房線「安房鴨川」行きに乗り換えた。案の定、館山駅では構内にコンビニは無く、その後の乗換駅でも無かつた。千葉駅でサンドイッチとかを買っておいてよかつた。行き当たりばつたりの人生はどうなのかな。

館山からの外房線の景色は荒々しい太平洋の姿が一望できるものと思っていたが、期待とは裏腹にほとんど海が見えず、いささかガックリ。

安房鴨川駅に到着後、約三分の待ち合わせで、「千葉」行きの外房線に乗換え、次の乗換駅の大網駅に向かう。途中、少しは海も見えていたが、若いろに海岸線を走る国道から見ていた景色とは異なり、じきに海は見えなくなつた。

途中、「行川(ナメガワ)アイランド駅」に停車したが、行川アイランドは二十年くらい前に閉園していると思つたが、でも、駅名だけは残つているのだな。

少々眠くなつてきた。が一時間余

で大網駅に到着。その後、東金線で「成東駅」、総武本線で銚子駅の一駆手前の「松岸駅」で、最後の乗り換えた。案の定、館山駅では構内にコン

用運賃は、物井と佐倉間の運賃の百九十九円でした。  
三十年余前の、女房、二人の子供たち(今では、三十代となつてゐる)との房総半島ドライブも懐かしく思ひ出させる。また、自動車から見る景色と電車から見る景色は違つたのだな。  
サラリーマン時代の若かりし頃、満員電車に乗り、片道一時間近くかけて通勤していたときと、リタイアした今の景色は違つて見えているのかな。

ま、ノンビリ行こうや。人生まだまだ楽しもうよ。

「いねし」

二班 福久 伍市

北海道で暮らしていた子供の頃の思い出です。昭和二十四年・五年頃、私が住んでいた村は小さな漁村でした。一年をイカ、タラ、ニシンやこんぶ、わかめなどを取り畠ではイモやかぼちゃや野菜など自給自足の生活でした。海に入るとウニやなまい

八時間余、乗車距離 336.5 km° 利

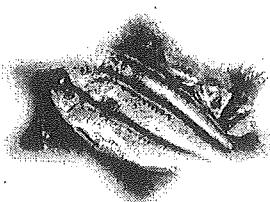
がいくらでも取れたので学校から帰ると海に入るのが楽しみでした。

今思ふと、考えられない事がありました、それは「いわし」です、その頃はいわしがいくらでも取れました。網に掛った、いわしは漁師の間では「ゴミ」のような存在でした。い

わしは食べるのではなく、畑の肥やしにしたり、

大きな釜で煮て油を取る位の事しか役に立ちませんでした。漁師がいわしを食べているのを見られたら近所中のうわさになりました。

今、スーパーなんかでいわしは一匹安くとも五十円以上すると思います。いわしは血液サラサラ、DHAなど今では人にとって大切ななんばく源です。人にとって大切ないわしを畑の肥やししていたなんて今思うと嘘の様な本当の話です。今は村の人達も肥やしにはしていないそうです。七十年前の話でした、おわり



### 「旅プラス思い出」

三班 渡辺 美知子

お天気に恵まれ楽しい一日でした。

久留里は山の中と知っていたものの、それ以上で驚きました。

小学校五年の時に弟と父の生家の君津に東京から疎開し高卒迄過ごした土地なので久留里も君津市ですが住んでいた所からは大部離れていましたが、とてもなつかしく感じました。

あの頃、久留里城に行こうと思つていた人はいませんでした、交通の便は無く、山深い所と思っていたからです。

あの坂道のけわしさは、私にして

は心臓が止まるかと・・・

班長さんが「大丈夫あわてず、自分のペースでゆっくり」と何度も励まして下さったので何とか到着感謝です。山の上から景色を眺める余裕は有りませんでした。



一言。

当時の事が頭の中で渦巻く様に、いろいろなことが沸いて来ました、

小学生も高学年になると重要な労働力で農作業や弟や妹の面倒をみたりで学校も休みがちでした、教科書もずい分遅れていました、安全の為疎開したもの木更津の飛行場を

目がけB29が編隊を組んで昼夜飛んできて恐い思いを何度かしました。

昭和の時代の頃のことは總て知つてゐるのでしようが、変わらないのは緑、美しく自然いっぱいの景色でした。足を鍛え今度はけわしい坂道を余裕でのぼれたらと夢みたいな事を考えていました。

「健康診断」に喜んでいく方は少ないと思います、私も出来れば行きたくない方です。

三月での受診は春が始まつたとはいえまだ寒く、病院内も寒いです、勿論暖房は入つてゐるのですが、検査用のパジャマみたいな服に着替え自分の検査の順番を待ちます。

その姿で寒さを感じながら嫌な胃カメラ検査を待つていると、気分がだんだん落ち込んで来ます、多少でも気分良く受けたいと思い、今年から暑さが残り、陽射しも眩しい季節の九月に変えました、だからと言つて胃カメラ検査が好きなる訳ではありません。

### 「からだのこと」

七班 吉野 強二郎

「大江戸温泉・君津の森」には以前友人と一泊しましたがこの山の中にある様な施設が出来た事は驚きの

ら内視鏡検査(胃カメラ)に変えた、バリュウム検査でもし病変が見つか

つたら、検査の為、内視鏡検査(胃カメラ)をしなければならない、それならば最初から検体を取る事が出来る胃カメラが良いのでは、いつど書き我慢すれば良いのだからだと思つたのですが、甘かつた。

「健康診断」に喜んでいく方は少ないと思います、私も出来れば行きたくない方です。

三月での受診は春が始まつたとはいえまだ寒く、病院内も寒いです、勿論暖房は入つてゐるのですが、検査用のパジャマみたいな服に着替え自分の検査の順番を待ちます。

その姿で寒さを感じながら嫌な胃カメラ検査を待つていると、気分がだんだん落ち込んで来ます、多少でも気分良く受けたいと思い、今年から暑さが残り、陽射しも眩しい季節の九月に変えました、だからと言つて胃カメラ検査が好きなる訳ではありません。

永い間、この身体を使い生活を致

しております、ここ数年はあちこちが痛み始め「健康診断」で毎年何らかの指摘を受けて帰つて参ります、今年は「目」が指摘され、後日「眼科」で検査を受けました、特に問題はなく一年に一度位の受診で経過を見ましょと言う事で一安心です。嫌な検診ですが誰かに変わつて受けた頃く訳にもいかず、自分の身体は自分で管理するしか、仕方があります。

もう暫くは使わなければいけない体です、大事にしなければと思ふ「健康診断」を受診しています。

### 「寿・コラム」

・現実の世界で、素人目には世にも不思議な現象が起つてゐる。数年前某自治体ではノーカーディと言つ推進運動があつた。一か所のみではなく、全国的に進めなければならぬ事態である。

・それは大気汚染の一因となる二酸化炭素の排氣を少しでも減らすためである。ところが現実はどうか、次々

しております、ここ数年はあちこちが痛み始め「健康診断」で毎年何らかの指摘を受けて帰つて参ります、

今年は「目」が指摘され、後日「眼科」で検査を受けました、特に問題はなく一年に一度位の受診で経過を見ましょと言う事で一安心です。嫌な検診ですが誰かに変わつて受けた頃く訳にもいかず、自分の身体は自分で管理するしか、仕方あります。

もう暫くは使わなければいけない

体です、大事にしなければと思ふ「健

康診断」を受診しています。

### 「寿・コラム」

・現実の世界で、素人目には世にも不思議な現象が起つてゐる。数年前某自治体ではノーカーディと言つ推進運動があつた。一か所のみではなく、全国的に進めなければならぬ事態である。

・それは大気汚染の一因となる二酸

化炭素の排氣を少しでも減らすため

に道路が整備され車社会が優先され

てゐる。

・目的地に早く行きたいが為に、時に主要道路に車が殺到し渋滞、これを避けようと脇道ならぬ地域の生活道路に迄入りこんでくる。ゆつたりした生活を脅かされ増え空気が汚染する。

・かく言う私も目的地へ向うため荷物が多い時、まとまと買物をする時等には車を使うが、近い所へは意識して自転車に乗るように心掛けて

いる。これは私達国民一人ひとりの問題である。『狭い日本そんなに急いで何處へ行く』の言葉が失われてはならない。

・今やマラソン大会、市民ハイキン

グ、歴史散策会ありで、ここ佐倉市は良い傾向であるが四百年もの昔の頃は生活その物が歩くことを主体にしていた。乗り物と言えば荷車、馬車、牛車等々であった。

・筆者が世話役をしている「ねじり歩こう会」は毎月一回(八月は休み)のみであるが、原則一時間以内歩き

ながら名所旧跡を見学して、知識を得ながら楽しむ事を目的にしている。

・近頃「犬も歩けば棒に当る」ではないが、歩いていても何が起こるか

分からぬ程事件、事故が多発して

いる。そこで人数限定でレクリエーション保険を掛け、一年毎に更新している。僅かながら年会費を徴収して

いるため、途中入会は認めていな

い。欠員が生じてはじめて年度初め

に入会を認めている。

・これがリーダーとしての責任でもあり、私自身メンバーの皆さんと楽しまなければ意味がない。前号Hさんの言葉通り帽子を被り歩いて「ボケ帽子(防止)」に繋げたい。

ねじり歩こう会世話人 斎藤

あとがき

今年度のプログラムも今月を含

め残り2回となりました。

大きな変化は、校歌が出来て全員

で講座前に齊唱することです。

歌詞は133文字1行からなつて

います。歌詞の中にあるように「六

十路」を過ぎた我々にとつては、大きな声を出すことで健康を保つ一石

二鳥の取り組みと思われます。

また、歌詞の下に「ハ長調」で作曲しました」とあります。

「ハ長調とは?」一言で言い表すと誰にでもわかるように明るく朗らかな曲に用いられる技法のようです。皆さんがよく存じの「じんぐりころころ」や「ぼくドラえもん」もハ長調で作曲されているそうです。詩曲から作詞・作曲者の心使いが感じられます

「根郷寿だより」もおかげさまで38号を発行することができました。少し早いようですが一年間指導・

協力いただいた公民館の方々、寿大学生の皆様方に御礼申し上げます。ありがとうございました。

それ行こう根郷寿大学生 オー

編集委員 松井 強